

2023年3月16日

草の根技術協力事業（支援型）

マラウイ農村部における 就学前教育アクセスの向上と質の改善 ～事業の紹介～

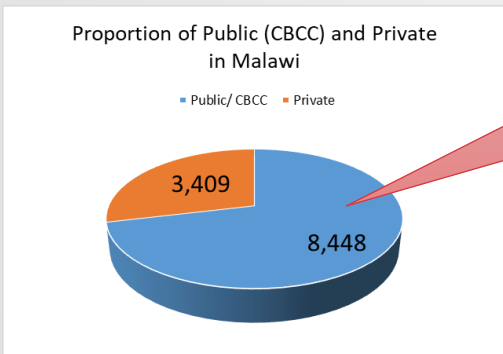
広島大学大学院人間社会科学科国際教育開発プログラム
谷口京子研究室

谷口 京子 （広島大学）

プロジェクトの背景

就学前施設の種類

- Public: CBCC (Community-Based Childcare Centre)
- Private: Nursery school



就学前施設の7割はCBCC

出所: MoGCDSW (2021)

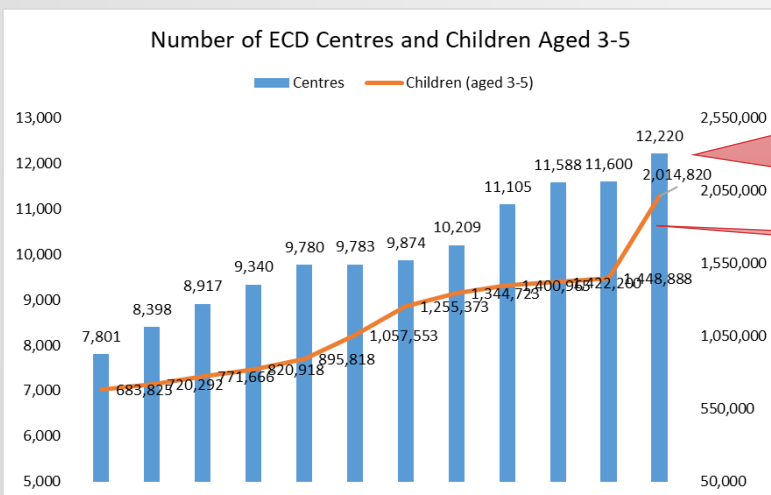
就学前施設の質: 保育者の状況

	All
保育者数	35,063
トレーニングを受けた保育者数	16,575 (47.3%)
保育者1人あたりの子ども数	41.84
トレーニングを受けた保育者1人あたりの子ども数	88.50



トレーニングを受けた保育者の不足

就学前施設へのアクセス



就学前施設は増加傾向
→ 就学前施設数の不足

3~5歳児の48.7%は就学前施設にアクセス(2018年)
→ 2人に1人の3~5歳児しかECD施設にアクセスできていない

出所: MoGCDSW (2018)

プロジェクトの内容 (PDM)

事業名：マラウイ農村部における就学前教育アクセスの向上と質の改善

上位目標：マラウイの就学前教育へのアクセスが向上し、質が改善する。

ンカタベイ
県

プロジェクト目標
対象地域において、就学前教育へのアクセスが向上し、質が改善する。

アウトプット

1. 保育者サポート
ブックが作成され、
使用される。

1-1. 県行政官と専門家が国家カリキュラムの課題を確認する。
1-2. 県行政官、専門家と保育者が保育者サポートブックを作成する。
1-3. 県行政官が保育者サポートブックの使用を確認する。

2. 県行政官が保育者を研
修するスキルを習得し、
保育者が研修される。

2-1. 専門家が県行政官の研修を考案し、研修教材を作成する。
2-2. 専門家が県行政官の研修を実施する。
2-3. 県行政官と専門家が保育者の研修内容を考案し、研修教材を作成する。
2-4. 県行政官と専門家が保育者の研修を実施する。

3. 県行政事務所のモ
ニタリング体制の基
盤が整えられる。

3-1. 県行政官と子ども保護員が対象CBCCでモニタリングする仕組みを構築する。
3-2. 県行政官と子ども保護員が保育者と教員の研修の効果を確認する。

4. 地域住民への啓蒙活
動が実施され、就学前教
育に対する意識が高まる。

4-1. 県行政官と専門家が地域住民に対象施設のプロジェクトについて説明する。
4-2. 県行政官と専門家が地域住民にCBCCのアクセスについて啓蒙活動を実施する。

活動

カウンターパートとターゲットグループ

カウンターパート：

ンカタベイ県社会福祉事務所、社会福祉省
ンカタベイ県教育事務所

ターゲットグループ：

県社会福祉事務所行政官2名

県教育事務所行政官2名

CBCC 2 施設

地域住民組織 (Community-Based Organization) の役員30名

子ども保護員 (Child Protection Worker) 3名

保育者15名

小学校 1~2年生の教員15名

地域に居住する4~5歳児約100名

養育者約100名

地域住民200名

プロジェクトの対象施設

2012年設立



2021年設立



プロジェクトのスケジュール

事業実施期間：2023年3月～2025年2月

プロジェクト目標	対象地域において、就学前教育へのアクセスが向上し、質が改善する。	2022年度			2023年度			2024年度			2025年度			投資機材 施設等												
		活動内容 (日本での研修実施を含む)																								
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
0. 就学前教育に関する情報収集が行われる。	1-0. 就学前教育に関する情報収集が行う。								■											■						
1. 保育者ガイドブックが作成され、使用される。	1-1. 県行政官と専門家が国家カリキュラムの課題を確認する。								■																	
	1-2. 県行政官、専門家と保育者、教員が保育者サポートブックを作成する。									■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	1-3. 県行政官が保育者サポートブックの使用を確認する。																									
2. 県行政官が保育者を研修するスキルを習得し、保育者が研修される。	2-1. 専門家が県行政官の研修を考案し、研修教材を作成する。																									
	2-2. 専門家が県行政官の研修を実施する。																									
	2-3. 県行政官と専門家が保育者と教員の研修内容を考案し、研修教材を作成する。																									
	2-4. 県行政官と専門家が保育者と教員の研修を実施する。																									
3. 県行政事務所のモニタリング体制が整えられる。	3-1. 県行政官と子ども保護員が対象CBCCでモニタリングする仕組みを構築する。																									
	3-2. 県行政官と子ども保護員が保育者と教員の研修の効果を確認する。																									
4. 地域住民への啓蒙活動が実施され、就学前教育に対する意識が高まる。	4-1. 県行政官と専門家が地域住民に対象施設のプロジェクトについて説明する。																									
	4-2. 県行政官と専門家が地域住民にCBCCのアクセスについて啓蒙活動を実施する。																									
広報計画（現地・国内）及び国内市民へのアプローチ	1. マラウインカタベイ県でのプロジェクトに関する広報活動																									
	2. プロジェクトに関する日本での広報活動・報告会																									
	3. プロジェクトに関する日本の大学や保育園等での講演活動																									

プロジェクトの実施体制

日本

- 谷口京子 (広島大学) : 教育開発
- 山本容子 (関西医科大学) : 公衆衛生
- 福田聖子 (日本大学) : 農業 (栄養改善)
- Arthur E. N. Chiponde : コーディネーター

広島大学附属三原幼稚園

JOCV幼児教育ネットワーク

マラウイ

- ジェンダー・子ども・障害・社会福祉省 (Ministry Gender, Children, Disability and Social Welfare Office)
- ンカタベイ県社会福祉事務所 (Nkahta Bay District Social Welfare Office)
- ンカタベイ県教育事務所 (Nkhata Bay District Education Office)
- コミュニティ・チャイルド・ケア・センター (CBCCs)
- 小学校 (Primary Schools)